

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ボラリスひろば桔梗教室			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~			2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~			2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育をメインとしたプログラムでワーキングメモリを鍛えたりなど脳機能の向上を目的とした活動を取り組んでいる。	飽きのこないよう、月に一回ほど内容を変更している。また、お友達と協力して行う課題などコミュニケーション能力の向上など、様々な能力にアプローチした内容の課題を提供している。	活動の難易度をその子のレベルに合わせて調整し、より能力の向上につながるよう内容を工夫していく。
2	毎日の活動の流れが固定化されているので、行うことが決まっていることを好むお子様には合っているプログラムとなっている。	毎日のスケジュールがわかりやすいよう、時間割を貼り出したりなど視覚的にも理解しやすいよう配慮している。	見通しを持ちやすいよう、事前にスケジュールの確認や説明などをし、不安なく過ごせるよう継続して支援を行っていく。
3	毎年参観週間を実施している。保護者の方だけではなく、関係機関にも事業所の取り組みの様子を見てもらえるようにしている。	必要に応じてどういった取り組みをしているのか、どのように普段すごしているのかなど説明、共有をしている。	参観日時だけではなく、日ごろの送迎のタイミングなどでも様子を伝え、引き続き連携をとれるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のスペースが狭く、遊びの内容によっては衝突などの怪我につながりそうな場面がある。	その日の利用する人数が多くなるとどうしても狭くなってしまう。	遊ぶスペースを区切るなどしながら怪我の防止に努めていく。また必要に応じて物の配置を一時的に変えるなどしながらスペースの確保が出来るよう工夫していく。
2			
3			